

『通販事業』と『OEM事業』の両軸で 地域資源の新たな付加価値を創造する

サプリメントや化粧品、食品などの受託製造（OEM）とネット通販の両軸で事業を展開。顧客へのワンストップサポート（商品企画・デザイン・製造・流通・販売）が強み。ネット通販で培ったBtoCのノウハウを、BtoBであるOEM事業にフィードバックし、事業を加速させている。また、農畜産物の未利用部分から生まれる有効成分の開発など、地域資源の「新たな付加価値創造」を追求。開発する商品には「健康で安心」というエッセンスを加え、＜地域資源革新＞で宮崎から地域経済を牽引する。

所在地 宮崎県宮崎市川原町6番21号
電話/FAX 0985-26-2210 / 0985-26-2215
URL <https://sunao-seiyaku.com>
代表者 代表取締役 廣澤 直也

設立 2011年
資本金 100万円
従業員数 21人



食材の魅力を再発見し『新たな付加価値』を作り出す通販事業

「価値を持たない」と思われているものに価値を見出すことがSUNAO製薬の戦略。ブルーベリーの「葉」を使った高ポリフェノール青汁や、日向夏の「皮」を利用したエッセンシャルオイルなど、地域の大学や事業者・生産者と連携しながら商品開発を行っている。直近では鶏のレバーや青魚、野菜などを粉末にした「まるごと離乳食シリーズ」が人気。また、社員も顧客の一人と捉え、社員から商品アイデアを募集する仕組みを構築。社員のアイデアとお客様の意見を商品開発に活かし、顧客目線の商品開発を心掛けている。



まるごと離乳食シリーズ

通販のノウハウをBtoBに活かしたOEM事業

企業からの依頼を受けてサプリメント・化粧品の製造を行うOEM事業では通販の実績やノウハウを活用。通販で得られた知見やデータ分析をもとに、コンサルティングをしながら「顧客とともに商品を作り上げる」スタイルはSUNAO製薬独自のもの。さらに専属デザイナーによるパッケージ・販促物の制作、WEBページ等デジタルコンテンツの制作、薬機法を順守した表記の検証などをワンストップで対応。どんな要望にも柔軟・迅速に応え、「売れる商品」を考える顧客伴走型のOEM事業を実現させている。



顧客との商談風景

『結果』を『成果』に。2つの事業のさらなるシナジーを目指す

自社だけでなく関係する生産者や大学などの研究機関を巻き込み事業を展開。直近では宮崎県と宮崎大学が開発したブルーベリー葉を、若い女性向けの青汁として商品化。産学官連携商品として海外からも注目を集める。そうした連携を深めつつ、素材の持つ魅力を発掘して付加価値を創造する仕組みづくりを模索している。特に「予防医療」「保存食・非常食」「離乳食」の3つのテーマに注力。地域資源を活用したユーザーの困りごとを解決する商品を開発し、海外展開も見据えて事業を展開中。



産学官連携の商品を開発（shutto）